

2020年4月16日

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院脳神経内科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担（費用や検査など）は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

神経疾患の剖検試料を用いた後方視的研究

[研究の背景と目的]

筋萎縮性側索硬化症や多系統萎縮症、多発性硬化症などの難治性神経疾患は、その発症機序や病態について未だ不明な点が多く根治療法は確立されていません。これらの難治性神経変性疾患の病態解明には、通常病理診断に加え神経病理学的検索が必須です。本研究は、東京医科大学病院で病理診断に使用した剖検試料を用い、神経病理学的検索を後方視的に行い、これらの疾患の病態を解明することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年1月1日から2019年7月31日までの間に東京医科大学病院で剖検を行

い、中枢神経病理診断を行った症例。

●研究期間

研究期間は医学倫理審査承認日から2025年12月31日までとします。

●利用するカルテ情報

診療記録（カルテ）より以下の項目の調査を行います。

①患者さんの背景（性別、生年月日、身長、体重、発症時期、既往歴、家族歴、合併症）、②臨床経過（診察所見、疾患の重症度、患者の生活の質、治療内容）、③神経心理学的検査の結果、④血液・生化学的検査の結果、⑤画像所見、⑥神経生理学的検査の結果。

●情報の管理

患者さんの調査票は、個人が特定されないように、カルテ番号とは異なる新たな患者様番号を割り振り管理します。カルテ番号と患者様番号との対応表と調査票は、研究責任者が厳重に保管します。また研究終了後はシュレッダーで破棄を行うこととします。学会での研究発表や医学専門誌への論文発表に際しても、患者様個人が特定できるような情報は含まないようにします。

[研究組織]

担当・役割	氏名	所属	職名
研究責任者・ 総括および個人 情報管理	相澤 仁志	神経学分野	主任教授
分担研究者・ 研究遂行	赫 寛雄	神経学分野	准教授
	加藤 陽久	神経学分野	講師
	日出山 拓人	神経学分野	講師
	井戸 信博	神経学分野	助教
	菊野 宗明	神経学分野	助教

相談窓口

担当者：東京医科大学病院脳神経内科 相澤 仁志

場 所：東京医科大学病院脳神経内科外来

連絡先：03-3342-6111（内）3100